

## ここが大事、ではもう一度

神奈川大学 梶原 正裕

大学の春はオリエンテーションからスタートする。多くの大学でそうなのだと思うのだが、オリエンテーションというやつには、やたらと時間がかかる。分けても新入生向けのものはすさまじく；単位履修の方法から始まって、各種事務手続き、学生生活を経て、サークル。同好会の勧誘まで、その全行程はゆうに二日から四日を要する勢いである。

私は新任教員でもあったので、新入生向けのオリエンテーションを学生と並んで受けることにした。まず、最初に「もう君たちは大学生なんだから、いちいち指示されるの待ってないで、何でも自分で判断して積極的に行動してもらいたい」というありがたいお言葉を頂戴する。その最も象徴的な制度上の表れが、掲示板による連絡システムであるという。なるほど、高校まではホームルームがあったわけで、こちらは受身的にぼーっとしていても、先生の方からくどいほど連絡事項の周知徹底がなされた。すべてのことが手とり足とり進められていた。しかし、今日からはそうはいかない。自分からアンテナをのばして情報を集め、自分で判断して行動を律していくかねばならない。ビーンとはりつめた空気が一瞬会場を支配する。自分が信頼されているがゆえに、ドライに突き放される。こういう緊張感はなかなか気持ちのいいものである。さて、その後オリエンテーションはどういう展開を示すか。「はい、それでは後は、履修要覧をよく読んで、掲示板をよく見て、わからることはカウンターでたずねて、期日までに履修登録をしてください。学生生活のことについては、手引を熟読のこと。サークルについては、各自で希望のサークルボックスを訪ねて下さい。これでオリエンテーションを終ります。今日は解散」もし、こんな大学があったら、さぞかし自律した大学生を世に輩出できるだろうなあ、という幻想を抱きながら、私は残りの

時間をうんざりしながらすごした。

実際には、「もう大学生だから」という言葉とは裏腹に、「〇〇を出しなさい」「大事だからメモしなさい」「もう一度繰返します」の連続である。ようやく休憩時間となり、指示の怒濤から開放されるかと思いきや、「この会場の近くにはトイレが2箇所あって、場所は後のドアを出て左右方向、一方にかたまると時間がかかるから、均等に分れて利用するように」ときた。つまりは、信用していないのである。かく言う私も、いざ自分の段になると、つい「いいですか。もう一度言いますから、しっかりメモしておいて、忘れずに手続きをして下さいね」などとやってしまうからしまが悪い。

「ここが大事だから」と言ってしまうのは、「どこが大事かを判断する力なんかお前にはないのだ」とどこかで思っているからである。いつも「もう一度」と繰返してしまうから、学生たちははなから一回で理解しようとはしない、いやもっとひどい場合には一回目はとりあえず聞かないでしましてしまうようになるのである。

先日、このことに気がついて、余計な一言を言わずに飲みこもうとした瞬間、ある種の不安を感じた。そして、その内実は、「もし私が『指導』をしなくとも、学生たちだけでなんでもテキバキとやれてしまったら、私の『教師』としてここにいることの意味がなくなるのではないか」という、自分の存在意義喪失の不安とそこからくる寂寥感であったように思う。各自の真に個性的な自律。発達を望んでいるという気持ちと突き合せてみると、なんとも逆説的な感情であるが、これも「教師根性」の一つかもしれない。

来年のオリエンテーションは、15分で終らせたいと思う。

## 新理事選出される

平成4年度からの理事を、下記の方々にお引き受けいただくことになりました。よろしくお願いいたします。（平成4年3月現在）

会長 染田屋謙相（東京・前板橋区教育長）  
 副会長 伊藤一郎（東京・目黒区教育長）  
 ハ 加藤幸次（東京・上智大学教授）  
 理事 岩崎誠一（教育環境計画研究所長）  
 ハ 大井秀夫（北海道・明和小学校長）  
 ハ 工藤鐵雄（北海道・月寒東小学校長）  
 ハ 佐藤 有（北海道教育大学文部教官）  
 ハ 重本勘治（北海道・大谷地東小学校長）  
 ハ 坪谷京子（北海道教育大学講師）  
 ハ 小川清志（北海道・広陽小学校長）  
 ハ 我孫子正紀（山形・寒河江小学校長）  
 ハ 細谷克夫（山形・戸沢小学校長）  
 ハ 五十嵐庸（福島・大越小学校長）  
 ハ 齊藤健一（福島・川俣小学校長）  
 ハ 武藤義男（福島・前三春町教育長）  
 ハ 野村裕子（福島・高瀬小学校長）  
 ハ 佐藤益雄（群馬・高崎市教育研究所）  
 ハ ○江連富男（埼玉・本庄市教育委嘱主）  
 ハ ○坂地澄夫（千葉県総合教育センター）  
 ハ ○石坂和夫（国立教育研究所室長）  
 ハ ○上山英昭（東京・前志村第二小学校長）  
 ハ ○木戸芳清（日本視聴覚教材センター）  
 ハ ○行徳高徳（東京・前中目黒小学校長）  
 ハ ○楠 元尾（東京・浅草小学校長）  
 ハ ○久保田滋（東京・目黒区教育研究所）  
 ハ ○清水正三郎（東京・大東文化大学教授）  
 ハ ○志茂曉子（東京・菅刈小学校教頭）  
 ハ ○高浦勝義（国立教育研究所室長）  
 ハ ○筒井安雄（東京・宮前小学校長）  
 ハ ○永井タケ子（東京・大蔵小学校長）  
 ハ ○永地正直（東京・西日本新聞社）  
 ハ ○平野朝久（東京学芸大学助教授）  
 ハ ○松野康子（東京・上野小学校長）  
 ハ ○矢沢公雄（東京・東山小学校長）  
 ハ ○岡本昭男（神奈川・大磯小学校長）  
 ハ ○関 芳雄（神奈川・作延小学校長）  
 ハ ○高橋 稔（神奈川・下曾我小学校長）  
 ハ 神代醇一（静岡県教育委嘱主）  
 ハ 音木昭平（新潟・黒崎市教育委員会）  
 ハ 上原 肇（富山・入善小学校長）  
 ハ 上島賛一（富山・野中小学校長）  
 ハ ○浅沼 茂（愛知・名古屋大学助教授）  
 ハ 糸柳 弘（愛知・二川南小学校長）  
 ハ 松下晴彦（愛知・稻山女学院大助教授）  
 ハ 鈴木正幸（神戸大学教授）  
 ハ 遠郷和男（岡山・遙郷小学校）

理事 長田勝男（沖縄・前大道小学校長）  
 ハ 渡久地政吉（沖縄・那覇市教育研究所長）  
 .....東海個性化教育研究会.....  
 理事○新美一成（会長 東浦町教育長）  
 ハ ○村田武雄（副会長 島田市教育長）  
 ハ ○吉村 亘（〃 池田小学校長）  
 ハ ○佐野文治（〃 弥富北中学校長）  
 ハ 齋木克夫（愛知・稻武町教育長）  
 ハ 金田喜兵衛（愛知・稻武小学校長）  
 ハ 竹内順夫（愛知・旭南中学校長）  
 ハ 田口芳宏（岐阜・東白川村教育長）  
 ハ 蔵角秀吾（岐阜・大垣北中学校長）  
 ハ 岩間隆義（岐阜・揖斐小学校長）  
 ハ 鈴木 茂（静岡・初倉南小学校長）  
 ハ 増田智治（静岡・初倉小学校長）  
 ハ 古木米治（静岡・六合中学校長）  
 ハ 森 幸彦（三重・第一小学校長）  
 ハ 薩谷 信（愛知・片山小学校長）  
 ハ 安藤 錠（愛知・卯ノ里小学校長）  
 ハ 楠原七太（愛知・石浜西小学校長）  
 ハ 魚住忠久（愛知教育大学教授）  
 ハ 竹内通夫（金城学院大学教授）  
 ハ 野村鉄吉（岡崎市南部市民センター館長）  
 ハ 横山謙二（監査 森岡小学校）  
 ハ 成田幸夫（監査 上野中学校）  
 ハ 板 恒雄（事務局長 緒川小学校長）  
 .....九州個性化教育研究会.....  
 理事○前崎敏雄（会長 第一経済大学助教授）  
 ハ ○荒木 隆（副会長 北九州教育事務所）  
 ハ ○宮里朝景（〃 沖縄・具志川市教委）  
 ハ ○三原英雄（頤間 春日市教育長）  
 ハ 村田喜一郎（福岡・北九州教育委員会）  
 ハ 古賀宮太（福岡・福岡県教育センター）  
 ハ 野口良治（佐賀・山内西小学校）  
 ハ 内田末春（熊本・山北小学校長）  
 ハ 梶原春二（大分）  
 ハ 横大路達也（福岡・須恵第一小学校長）  
 ハ 中島増夫（鹿児島・前加世田小学校長）  
 ハ 上原正則（沖縄）  
 ハ 松尾法夫（福岡・東郷小学校長）  
 ハ 田中 普（福岡・志摩中学校）  
 ハ 柏木順子（福岡・真崎小学校）  
 ハ 池田 滉（福岡・千島小学校）  
 ハ 竹浦ミトカ（福岡・小野小学校）  
 ハ 木下啓作（福岡・北野小学校）  
 ハ 池田信一（福岡・久原小学校）  
 ハ 白水 明（福岡・志免南小学校）  
 (○印は常任理事)

※理事の方々の記載事項に誤りがありましたら事務局までお知らせください。

平成3年度 全国個性化教育研究連盟  
会計報告 1992.3.31

○収入の部

種別	予算	決算	備考
個人会費	600000	703000	3000円
団体会費	150000	196000	5000円
東海研究	85500	90000	1500円
九州研究	105000	78000	1500円
事業収益	300000	75500	会誌印税
繰越金	116858	116858	
預金利子	5000	5469	
その他	20000	0	
合計	1382356	1264825	

○支出の部

款	項目	予算	決算	備考
事業費	研究研修	70000	70000	
	広報活動	700000	617270	
	研究発表	50000	50000	
	涉外費	20000	0	
	会議費	50000	50000	
事務費	事務費	85000	51000	
	連絡通信	150000	308699	
	消耗品費	70000	54391	
	諸費	20000	4510	
予備費		167656	0	
合計		1382356	1205870	

○差引残高 ----- 58955

・上記の通り決算報告いたします。

平成4年3月31日

会長 染田屋謙相  
事務局長 高浦 勝義  
会計部長 中澤 米子

・監査の結果、相違ないことを認めます。

平成4年3月31日

会計監査 行徳 高徳  
石坂 和夫  
印章省略

平成4年度 全国個性化教育研究連盟  
会計予算案 1992.3.31

○収入の部

種別	予算	決算	備考
個人会費	700000		3000円
団体会費	200000		5000円
東海研究	90000		1500円
九州研究	78000		1500円
事業収益	300000		会誌印税
繰越金	58955		
預金利子	5000		
その他	20000		
合計	1451955		

○支出の部

款	項目	予算	決算	備考
事業費	研究研修	70000	70000	
	広報活動	700000		
	研究発表	50000		
	涉外費	20000		
	会議費	50000		
事務費	事務費	85000		
	連絡通信	350000		
	消耗品費	60000		
	諸費	20000		
予備費		46955		
合計		1451955		

平成4年度 活動計画

△誌「個性を育てる」第7号の発行

6月の発行をめざして、最後の準備を進めています。今回の特集は「総合的学習をつくる」です。新学習指導要領がスタートし、小学校では生活科、中学校では選択教科の拡大が始まりました。そんななかで、全国各地から意欲的な実践を報告します。ご期待ください。

## 研究会 研九云

☆第1回 7月5日(日) 13:00~15:00  
於 上智大学

講演 「アメリカの教育改革の動き」  
イリノイ大学教授 P. スポディック氏  
(オープン教育・幼児教育の大家)  
くわしくは、申込書をごらんください。

☆第2回 10月頃、生活科の評価についての  
研究会を計画中です。くわしくはのちほど。

## 第8回夏季研修会

7月26日(日)~28日(火)  
於 沖縄県具志川市

昨年度は上智大学を会場に東京大会を開催しました。今年度は8回目を迎え、沖縄県の具志川市の兼原小学校、高江洲小学校を会場に研究授業も計画しています。東京からの航空券、ホテルの斡旋も事務局でいたしますので、ふるってご参加ください。くわしくは申込書をごらんください。

## 第3回海外オープンスクール研修旅行

8月18日(月)~30日(木)

1988年、1990年の2回、1年おきに海外研修旅行を実施してきました。過去2回はアメリカを加藤幸次先生に案内して頂き、現在のアメリカのオープンスクールを参観してきました。今回はイギリス・ランカシャー州の学校を中心に参観する計画です。先着20名で打ち切らせて頂きますので、ご希望の方は早めに事務局までご連絡ください。

## 会報の発行

本年度は、この21号から、8月の22号、11月の23号、1月の24号を計画しています。情報満載の紙面にご期待ください。

〈事務局への問い合わせ・連絡先〉  
〒114 東京都北区赤羽南1-16-2-504  
03-3903-4780 庁務部長 佐久間茂和

## 事務局組織分担

事務局長	庶務部	○佐久間茂和 (東京) 加藤幸次 (東京) ※東海・九州連絡担当 成田幸夫 (愛知) (東海個性化研究会) 池田信一 (福岡) (九州個性化研究会) 山田富久 (東京)
高浦	広報部	○館岡茂樹 (神奈川) 五十子昭美 (東京) 望月桂二 (東京)
勝義	会計部	○中沢米子 (東京) 橋本享子 (東京) 秋田悦子 (東京) 太田 始 (東京)
	研究部	○浅沼 茂 (愛知) 加藤 勇 (埼玉) 岩田泰治 (埼玉) 結城 恵 (埼玉) 奈須正裕 (神奈川)
	研修部	○河合剛英 (神奈川) 等々力美津子 (東京) 並木康成 (神奈川) 池田伊三郎 (神奈川)

編集部	○松田早苗 (千葉) 川島良代 (東京) 小久保晶良 (埼玉) 荻久保公秋 (埼玉)
-----	---

(○印は各部の部長)

## 「個性化教育ハンドブック」好評発売中

会誌「個性を育てる」の第6号として、日本の個性化教育をリードする114校を特集して4月1日に発行しました。各校の特色を見開きの2ページにわかりやすくまとめてあります。大いにご活用ください。1冊1000円でお分けしています。事務局までお申し込みください。

全国個性化教育研究連盟会報 第21号  
平成4年5月9日発行  
編集責任者 事務局長 高浦勝義  
編集 広報部 館岡茂樹